

- ・16 年度からの総務部・研究部・情報部・大会部の 4 部体制から、情報部の業務を分散した 3 部体制への移行
- ・昨年度からは、監査委員を 1 名削減など

しかしながら、組織のスリム化も限界にきているところです。そこで、今年度は、組織検討委員会中間報告を受けて、ICT を活用した事務・業務の効率化に試験的な取組を開始してみたところです。

未加盟校への働きかけについては、道へき・複連の発足の趣旨や目的等について啓発活動を行うなど、各地区での意識高揚に向けた取組をお願いしているところです。また、小規模中学校との研究・組織面での一体化についても研究面での連携や一体化が可能かどうか検討を進めているところです。

- ◆教育条件整備については、3 学級 4 定員、教頭の無配置校の解消をはじめ、へき地・複式校の抱える諸課題に、全へき連、道小、道へき・複連 O B 会等とも連携しながら、関係機関に要請して参りました。

一昨年度からは、道財政運営の健全化のための給与適正化に係るへき地級地算定要素の見直しの動きが急浮上し、大きな問題となりました。道へき・複連としては、道小とも連携を強め、関係機関への働きかけを行ってきました。平成 21 年 1 月に予定されております「へき地指定基準」見直しに向け、今後とも情報収集に努め国・道等の動きを注視していく必要があるとおさえています。

- ◆研究、組織、財政などの諸課題につきましては、今年度も組織検討委員会を設置し 9 月には中間報告を受けたところです。今後、総会時での最終報告を受け、できるところから解決・改善に努めていこうと考えております。

3 情報関係活動経過報告（概要）

- 5 月 8 日 定期総会で「全へき新聞」原稿執筆について提示
- 6 月 8 日 「道へき・複連情報」送付先・送付部数集約
- 27 日 「全へき新聞」執筆者氏名報告集約
- 29 日 「道へき・複連情報」129 号発行
- 7 月 5 日 道へき・複連ホームページ更新依頼

- 25 日 「全へき新聞」原稿執筆依頼書、返信用封筒を各地区担当者へ送付
- 「全へき新聞」原稿執筆者一覧表を全へき連事務局へ送付

- 11 月 22 日 「道へき・複連情報」130 号発行
- 11 月 29 日 道へき・複連ホームページ更新依頼
- 2 月 29 日 「道へき・複連情報」131 号発行
- 3 月初旬 道へき・複連ホームページ更新依頼

4 情報関係業務報告

(1) 情報関係

事務局で「道へき・複連情報」（129、130、131 号）を 3 回発行し、広報活動に努めました。130 号では第 56 回全道へき地複式教育研究大会空知大会を特集し、全体会及び各分科会の研究成果と課題等について情報提供することができました。また、第 57 回全道へき地複式教育研究大会檜山プレ大会についても、研究主題や分科会会場についても知らせることができました。あらためて空知及び檜山のへき・複連の情報提供と原稿執筆に感謝とお礼を申し上げます。

道へき・複連ホームページの内容更新は、北海道教育大学へき地教育研究センターの協力を得て行い、前年度の「道へき・複連情報」128 号から 130 号まで掲載しました。

各地区へき・複連事務局の皆様には、ご多用の中、情報提供、加盟校への種々の連絡や配付等にご尽力いただき、心よりお礼申し上げます。

<各号の主な内容>

- 【129 号】
 - ・平成 19 年度道へき・複連「定期総会」特集
 - 【130 号】
 - ・第 56 回全道へき地複式教育研究大会空知大会特集
 - ・第 57 回全道へき地複式教育研究大会檜山プレ大会
 - 【131 号】
 - ・平成 19 年度道へき・複連活動報告特集
- 《道へき・複連ホームページの内容》
- ・シンボルマーク、へき地教師の歌
 - ・要覧、研究主題
 - ・全道へき地複式教育研究大会関係
 - ・全道へき地複式教育研究大会プレ大会関係
 - ・北海道へき地複式教育実践研究発表大会関